

沖縄酒類製造業の自立的経営促進事業

「沖縄白酒」中国輸出 & インバウンド展開プロジェクト

「沖縄白酒」中国輸出 &
インバウンド展開 共同企業体



ビンコウHD株式会社



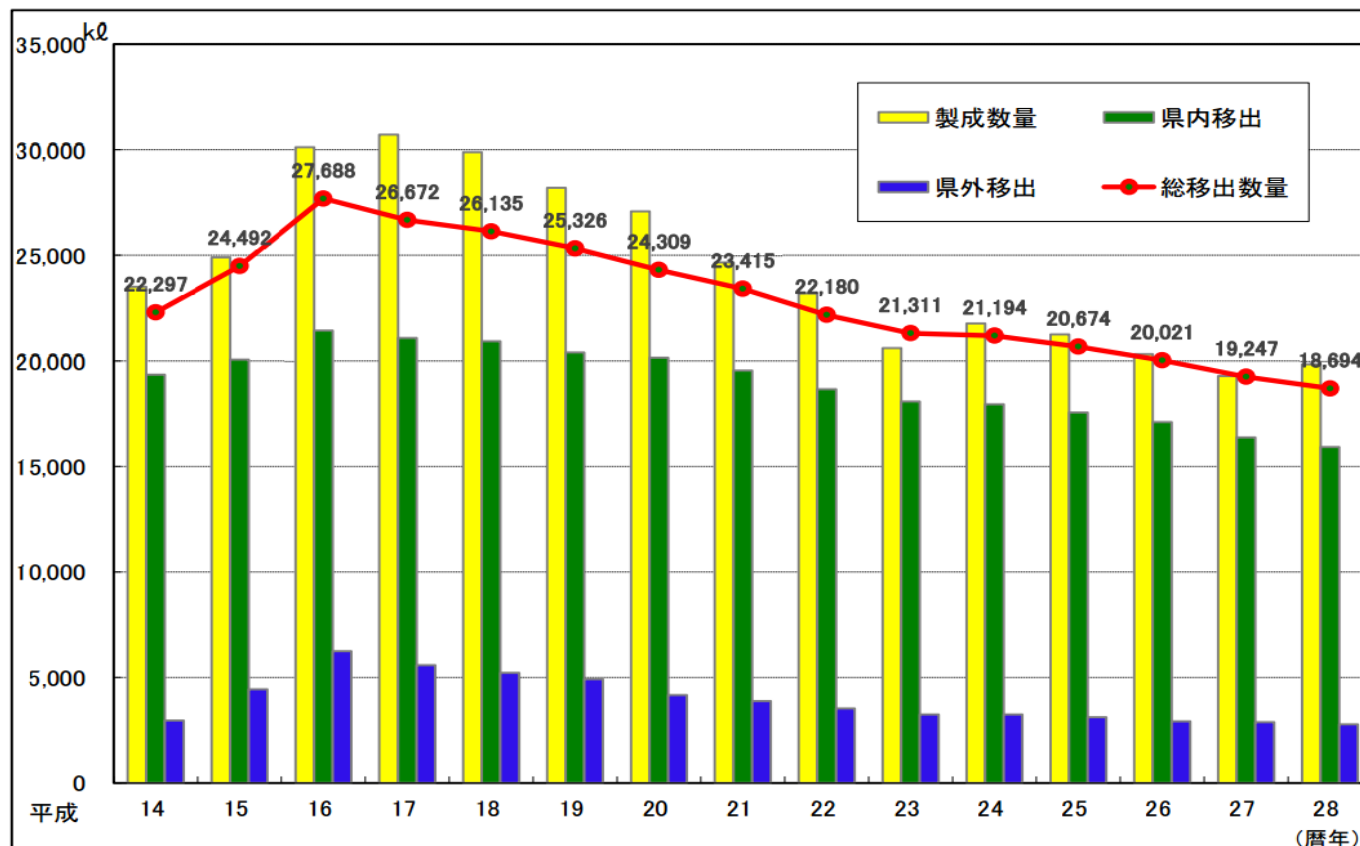
瑞穂酒造株式会社



南島酒販株式会社

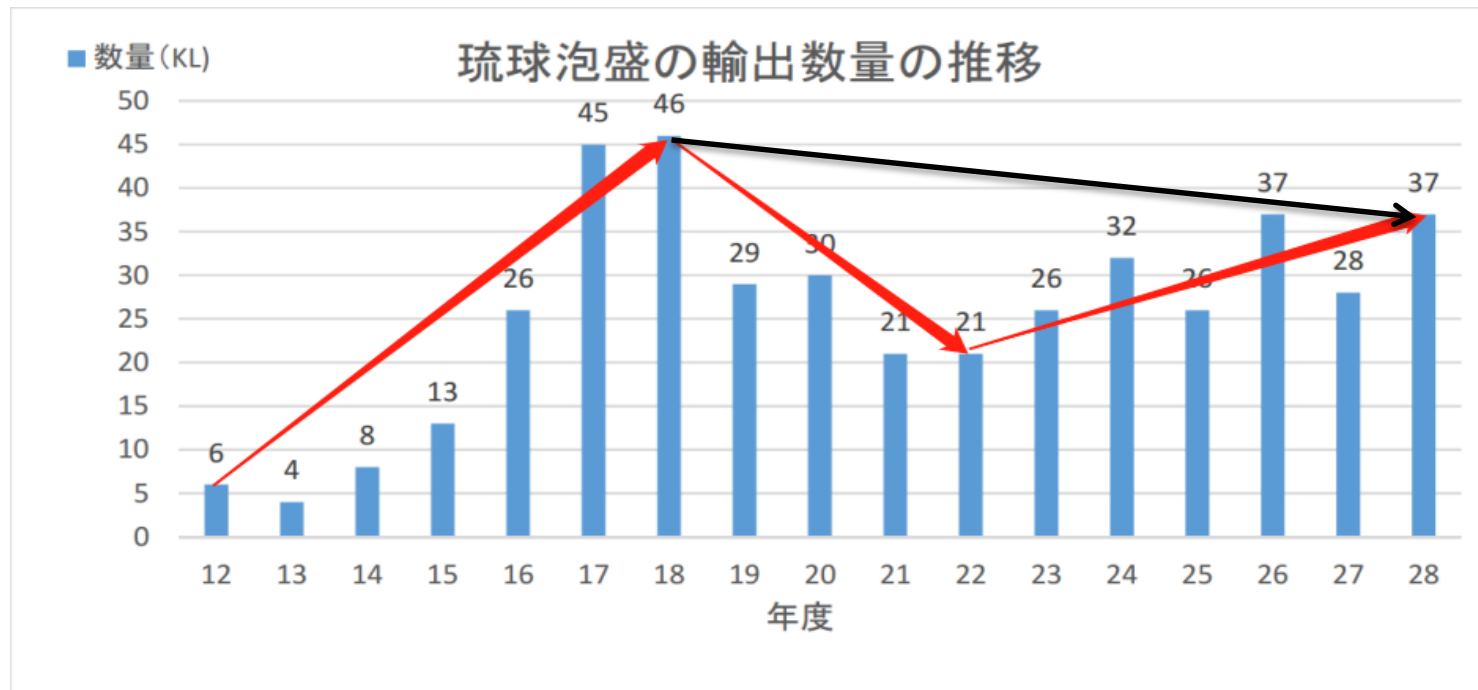
泡盛総出荷量推移

泡盛総出荷量は13年連続で減少



泡盛輸出数量推移

輸出はH18年がピーク。その後H22年まで低下し、近年持ち直してきたが、H28の泡盛輸出量は**37KL**。同年の生産量に占める割合は僅か**0.2%**に過ぎない。



2016年上位輸出国ランキング

1位香港(31.2%)

2位米国(31.1%)

3位台湾(14.2%)

4位中国(9.6%)(3.6KL)

☆ 市場にゆがみが生じている

—輸出に大きな伸びしろと、ビジネスチャンスが潜在している—

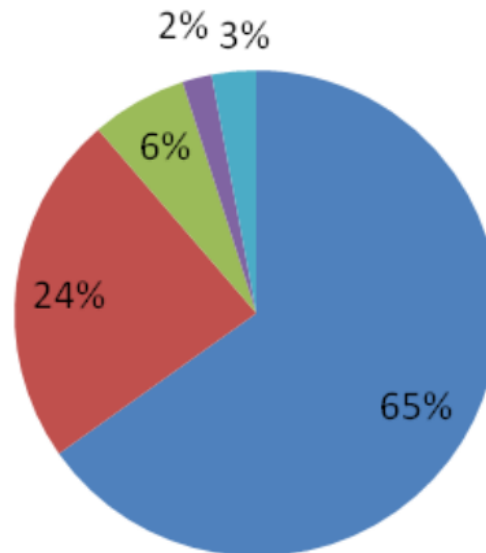
出所 国税庁

中国アルコール飲料の市場状況

白酒65%、ビール24%、ワイン6%、紹興酒2%、その他3%

酒类行业销售收入分布

■ 白酒 ■ 啤酒 ■ 葡萄酒 ■ 黄酒 ■ 其他酒类



中国白酒 生産量推移

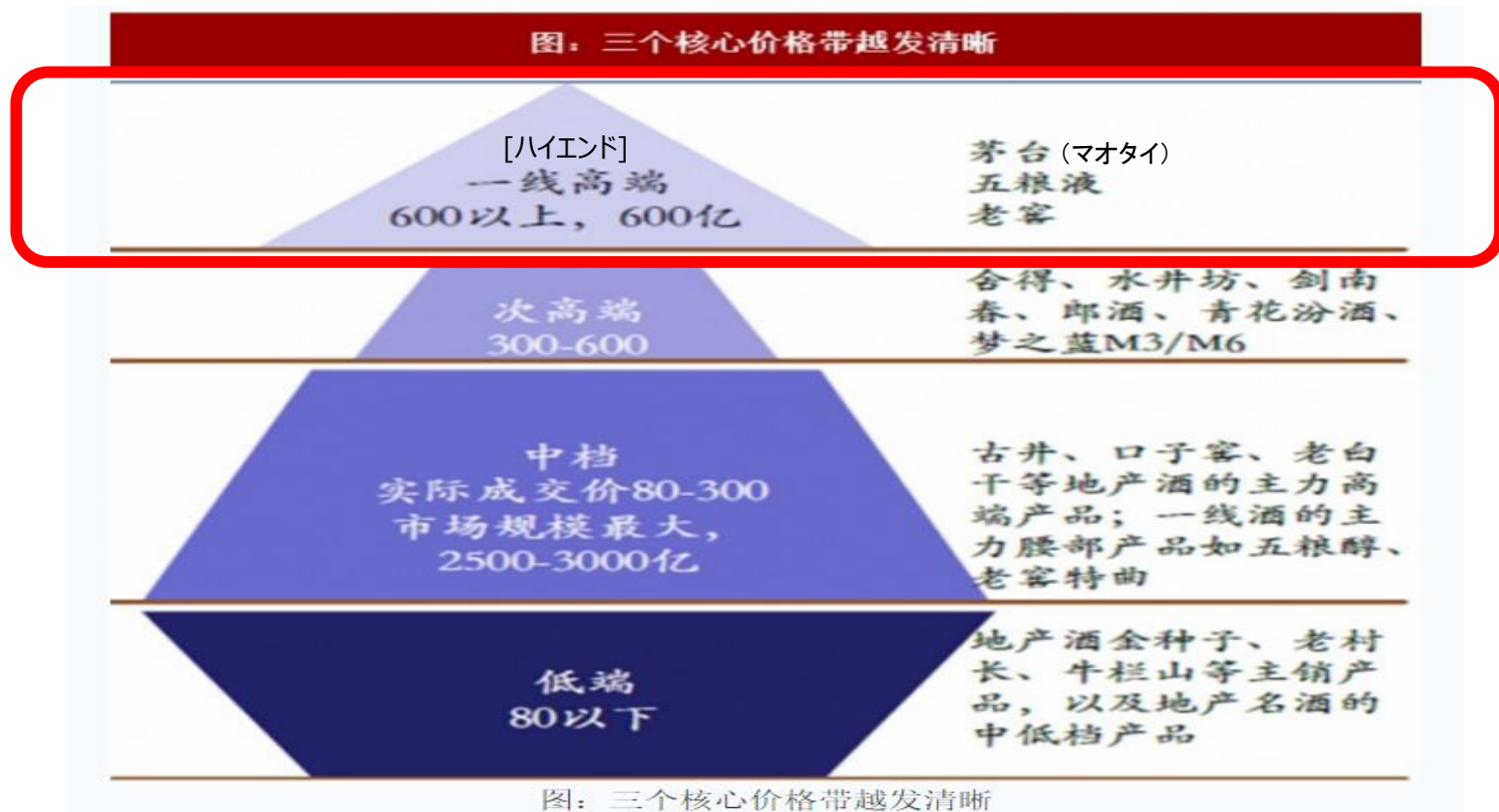
2016年は1,358万tで、同年の泡盛生産量の約730倍にあたる



出所 中国統計局

ランク別白酒の市場規模とブランド

ハイエンドの白酒は **600元(約10,000円)以上** の価格帯



出所 中国統計局

ランク別白酒の市場シェア

ハイエンドの白酒は売上ベースで
市場シェアの**11%**を占めている

次高端存広闊扩容空间

—	价位帯	市場容量占比	主流产品
高端	600元以上 =1万円以上	11%	茅台、五粮液、国窖 1573
次高端	300-600元	5%	水井坊、洋河、沱牌 舍得、酒鬼酒、山西 汾酒
中端	100-300元	40%	古今贡、口子窖、今 世缘
低端	100元以下	44%	老白干、金种子酒、 迎驾贡酒

数据来源：公开资料整理

泡盛が中国で売れない原因分析と対策

1. ネーミング問題

琉球泡盛

→ 「沖縄白酒」

2. マーケット問題

日本酒マーケット

→ 白酒マーケット

マーケティング戦略

- ◎ 中国**白酒**のハイエンドマーケットに切り込む
- ◎ 大中華圏（香港など）マーケットに展開する
- ◎ 国内とインバウンドマーケットに展開する
- ◎ オンライン・オフラインの2本立てで販売する

泡盛のアドバンテージ

◎ 日本最古の蒸留酒（600年の歴史）

◎ 歴史に裏打ちされた豊富なストーリー

- ・首里三箇物語
- ・冊封使物語

清烈にして芳わしい佳味なる酒

- ・進貢貿易物語
- ・ペリー来訪物語

フランスのブランデーに匹敵する



◎ 独特な酒器の存在

- ・嘉瓶（ゆしびん）
- ・カラカラ



沖縄白酒LOGO



「沖縄白酒」の定義

沖 縄 酒		
沖縄白酒 ←50度		45度→琉球泡盛
・沖縄産 ・50度以上 ・無色透明 ・蒸留酒・原酒		・沖縄産 ・45度以下 ・無色透明 ・琉球泡盛

★中国のハイエンド白酒（50～53度）
をターゲットに展開

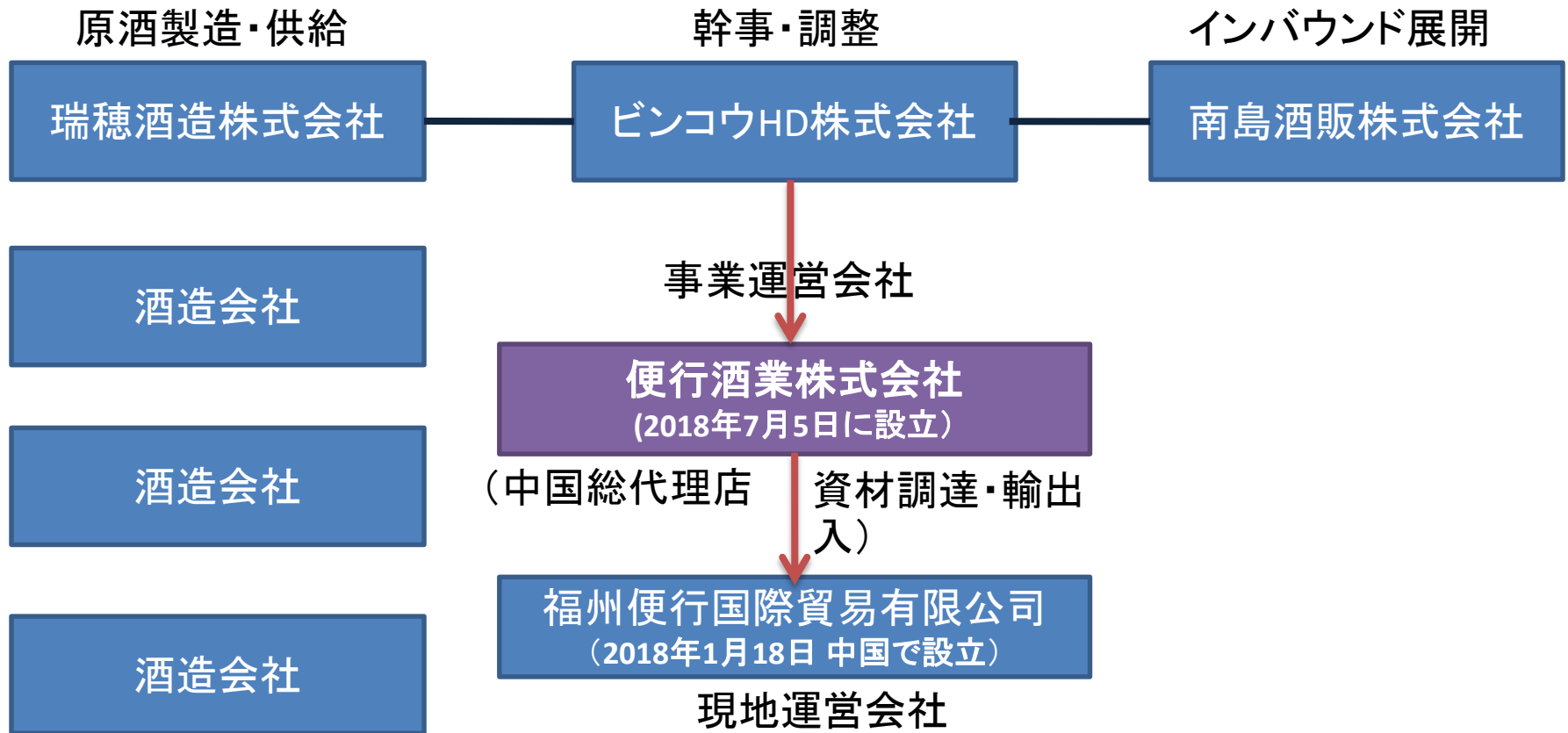
★沖縄白酒の市場投入後、
現地のニーズを捉えながら展開

沖縄白酒第1号製品



★中国のトップエンドの白酒は53度である

プロジェクト実施体制図



★複数の酒造会社が利用できる「**沖縄白酒普及のプラットフォーム**」を構築する

中国(福建省)にアンテナショップ°

本年3月、福建省福州市に「日本・沖縄館」を開設



プロモーション状況

インバウンド

1、クラウドファンディング（Makuske、9/19-10/12）



＊国内のマーケットの感触をつかむため、一般販売前にクラウドファンディングを行った。期間中91本、1,152,500円売り上げた。

2、第9回総合酒類展示会（9/19 南島酒販）



＊試飲会を開催、多くの問い合わせや具体的な商談があった。

3、今後の予定

2018年	名称	場所	備考
10/31～11/5	泡盛の日フェア	イオン 琉球	(南島)
11/29～30	大交易会 (いいね泡盛展)	沖縄	出展申込済 (便行)

アウトバウンド

1、第10回大連日本商品展覧会（9月21～23日）



- * パッケージ（箱・瓶）は素晴らしいという意見が多かった。
- * 試飲会を開催、「悪くはないが、味が若い」、「香りが弱い」、「値段が高い」という反応が多数寄せられた。
- * 高級ホテルからの引き合いがあり、商談継続中。

香りの四つのタイプ



醬香型



濃香型



清香型



米香型

2、今後の予定

2018年	名称	場所	備考
10/25～27	全国秋季酒類交易会	長沙	申込済
11/5～10	中国国際輸入博覧会	上海	申込済

* 2019年は月平均1回酒類交易会に出展する予定

我々の挑戦

販売目標

(30度換算)

2019年:	10kℓ
2020年:	25kℓ
2021年:	50kℓ
2022年:	100kℓ
2023年:	120kℓ

我々の目指すもの

「新たなマーケット」を創出する

☆45度以下の琉球泡盛と並び、50度以上の「沖縄白酒」の
新たなマーケットを創出する

**「沖縄白酒」を沖縄県の「新たな特
産品・地域ブランド」に育てる**

**沖縄酒（沖縄白酒）を再び国際
舞台に登場させる**

ご清聴ありがとうございました。